

2020 年度
(令和 2 年度)

学校関係者評価報告書

2020 年 12 月

学校法人 国際文化アカデミー
JTB トラベル&ホテルカレッジ

1、学校関係者評価

(1) 目的

- ① 自己評価の評価結果の客観性・透明性を高める。
- ② 専修学校と密接に関係する者の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図る。

(2) 評価のポイント

- ① 自己評価結果の内容が適切か
- ② 自己評価結果を踏まえた今後の改善方策が適切か
- ③ 学校の重点目標や評価項目が適切か
- ④ 学校運営の改善に向けた実際の取組が適切か

(3) 評価期間

2019年度（2019年4月1日から2020年3月31日）

(4) 評価結果の公表・活用

- ① 評価結果や今後の改善方策等を公表する。
- ② 評価結果を改善方策の検討に活用し、次年度の重点目標の設定や学校運営や教育活動などについて具体的な改善を図る。

(5) 学校関係者評価委員会の構成

① 学校関係者評価委員 4名

氏名	種別	所属	役職	任期
傳寶 貴子	企業	(株)京王プラザホテル	人事部人事支配人	3年
大原 健晴	地域	巣鴨信用金庫	本店営業部 部長	3年
飯塚 裕美	卒業生	(株) J T B	青葉台店 店長	3年
櫻井 康一	企業	(株) J T B	人事部人材開発マネージャー	3年

② 学校関係者評価教職員 5名

氏名	所属	役職
山村 晋一	JTB トラベル&ホテルカレッジ	常務理事 校長
井上 聡 (注)	JTB トラベル&ホテルカレッジ	常務理事 総務部長
坂本 友理	JTB トラベル&ホテルカレッジ	理事 教務部長
中村 英明	JTB トラベル&ホテルカレッジ	学生募集部長

(注) 2020年7月就任のため、自己評価については 田口 昌彦（前常務理事 総務部長）が実施。

(6) 学校関係者評価委員会の実施状況

- ① 日時 : 2020年10月30日(金) 14:55~17:20
- ② 場所 : JTB トラベル&ホテルカレッジ 図書室
- ③ 参加者 : 学校関係者評価委員及び学校関係者評価教職員
- ④ 配布資料 : 2019年度自己評価報告書、2019年度事業計画
- ⑤ 議題 : 2019年度の自己評価について

2、実施方法(評価)

(1) 『専修学校における学校評価ガイドライン』に沿って実施した『平成30年度自己評価報告書』について、学校関係者教職員から基準毎(1~10)について説明を行った後、学校関係者評価委員が点数化し、その平均点(小数第2位を四捨五入)を記載した。(自己評価についても、各項目の平均点を記載した。)

(2) 基準毎の評価点は下記の通り

- 4点 : 適切
- 3点 : ほぼ適切
- 2点 : やや不適切
- 1点 : 不適切

(3) 学校関係者評価委員からの質問、意見等を記載した。

3、評価結果報告

【基準1】教育理念・目的・人材育成

	評価項目	自己評価 (平均)	学校関係者評価 (平均)
1-01	理念・目的・育成人材像	3.9	4.0

(意見)

- ・ 全体的によく取り組まれている。
- ・ 定量目標やアクションプランを作成する等、可視化と期限設定が必要。

【基準2】学校運営

	評価項目	自己評価 (平均)	学校関係者評価 (平均)
2-02	運営方針	4.0	4.0
2-03	事業計画	4.0	
2-04	運営組織	4.0	
2-05	人事・給与制度	4.0	
2-06	意思決定システム	4.0	
2-07	情報システム	3.8	

(意見)

- ・2-07において自己評価をあえて厳しくしていることは、取組姿勢として評価される。

【基準3】教育活動

	評価項目	自己評価 (平均)	学校関係者評価 (平均)
3-08	目標の設定	4.0	4.0
3-09	教育方法・評価等	3.9	
3-10	成績評価・単位認定等	4.0	
3-11	資格・免許の取得の指導体制	4.0	
3-12	教員・教員組織	4.0	

(意見)

- ・社会ニーズに対応した授業新設等、教育に対する熱意が感じられた。
- ・学生へのケアも出来ており、言語化ができれば大きな強みとなる。

【基準4】学修成果

	評価項目	自己評価 (平均)	学校関係者評価 (平均)
4-13	就職率	4.0	4.0
4-14	資格・免許の取得率	4.0	
4-15	卒業生の社会的評価	2.5	

(意見)

- ・資格取得、就職率などの成果（実績）については高く評価される。
- ・学校側より、卒業後の学生への対応として①中長期的な観点での仕事観に対する指導や教育の必要性が語られ、委員側からも同窓会ネットワークの整備が挙げられた。

【基準5】学生支援

	評価項目	自己評価 (平均)	学校関係者評価 (平均)
5-16	就職等進路	4.0	4.0
5-17	中途退学への対応	4.0	
5-18	学生相談	4.0	
5-19	学生生活	3.7	
5-20	保護者との連携	4.0	
5-21	卒業生・社会人	2.2	

(意見)

- ・前項基準3でも触れているとおり、メンタルや経済面等の学習継続へのサポートが

具体的な実施方含めて理解した。

- ・前項基準4に続き、同窓会組織の整備が強化ポイントである。

【基準6】 教育環境

	評価項目	自己評価 (平均)	学校関係者評価 (平均)
6-22	施設、設備等	3.6	4.0
6-23	学外実習、インターンシップ等	4.0	
6-24	防災・安全管理	3.7	

(意見)

- ・施設拡充は予算面で厳しいことは理解しつつも継続的な対応は必要。
- ・図書室のあり方について、デジタル化も取り入れた検討が必要。
- ・災害等の危機対応マニュアルの明文化が必要。

【基準7】 学生の募集と受入

	評価項目	自己評価 (平均)	学校関係者評価 (平均)
7-25	学生募集活動	4.0	4.0
7-26	入学選考	4.0	
7-27	学納金	4.0	

(意見)

- ・2019年度の入学状況が補足説明され、評点に連動していないことを理解。
- ・入学者数に一喜一憂することなく、色々なチャレンジすること。
- ・就職率や資格取得率の推移について平仄を同一にするほうがよい。

【基準8】 財務

	評価項目	自己評価 (平均)	学校関係者評価 (平均)
8-28	財務基盤	4.0	4.0
8-29	予算・収支計画	4.0	
8-30	監査	4.0	
8-31	財務情報の公開	3.8	

(意見)

- ・適正な管理がされている。

【基準9】 法令等の遵守

	評価項目	自己評価 (平均)	学校関係者評価 (平均)
9-32	関係法令、設置基準等の遵守	4.0	4.0
9-33	個人情報保護	3.5	
9-34	学校評価	4.0	
9-35	教育情報の公開	4.0	

(意見)

- ・9-33 個人情報保護について厳しく自己評価をしている点について高く評価する。
- ・アクションプランがあれば提示して欲しい。

【基準10】 社会貢献、地域貢献、国際交流

	評価項目	自己評価 (平均)	学校関係者評価 (平均)
10-36	社会貢献・地域貢献	3.1	4.0
10-37	ボランティア活動	4.0	

(意見)

- ・学生にとっても好評であることが補足され、さらなる取組強化を望みたい。

【全体】

(全体を通しての意見)

- ・定性的な目標が多いため、アクションプランにリンクできる定量指標を取り入れるなど、わかりやすさの工夫が必要。
- ・学生へのケアはこの学校の強みであり数量化できると良い。

以上